

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 広域抗菌薬の膵頭十二指腸切除術後膵液瘻予防効果に関する研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 坂元克考（肝胆膵乳腺外科 講師）

【研究の目的】

肝門部領域悪性腫瘍手術を受ける患者さんに関して、周術期の抗菌薬使用方法と手術や術後合併症に関する情報を利用して、適切な抗菌薬選択や投与期間と術後合併症との関係を検討することで、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2013年1月から2022年12月までの間に、当科で膵頭十二指腸切除術を受けた患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、併存疾患、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、術前・術後診断、手術時間、出血量、使用抗菌薬と投与期間、術後膵液瘻発生率、その他の術後合併症 等

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 坂元克考

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 坂元克考

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5327